

町長タウンミーティング 開催結果

5月24日（金）18：00～20：00 いきいき4・6（参加者10名）

発表内容等
Q 他自治体では温泉を利用した経費の削減や、お湯を売って農家の方が農業に活用している事例がある。また、観光面で足湯など共同浴場のような施設があったらいい。 A 白老町には他の町にない温泉があるということで地元の資源を活用した公共施設もありかと思う。
Q 萩野生活館を利用しているが電気が切れていたり、湿気っぽい匂いがして臭い。 A 老朽化で不便をかけている。施設の在り方については皆様の意見を聞いたなかで考えていきたい。
Q 社台小学校に高齢者大学を移すということを報道で見たが、小学校の利活用を検討しているのか。 A 以前はウポボイ開設準備に使っていたが、現在は利活用されていない。屋根の老朽化はあるものの、国道沿いに面していることや、社台地区の活性化も含め議論を進めてきたなか、機能充実も含め高齢者大学移転の準備を進めている。
Q 旧竹浦小学校と体育館は草が生い茂っているなか、防災備蓄品を置いていて聞いているが今後どうされるのか。 A 防災備蓄品が収納されており具体的な町の方針は出ていないが昨年からは文化芸術の方の力を借りて地域の賑やかしで利活用している。
町民の意見を吸収するタウンミーティングは今後も積極的に開催していただきたい。
Q 総会にしか使われていない施設などがあるが、今の公共施設の利用状況をさらに細かく出して見える化をした方がいい。そうすると公共施設に対する町民の認識が上がってくるのではないかな。 A まさしくその通り。公共施設の利用状況などについて、わかりやすい説明を実施していきたい。
Q 町は公共施設についてこうしていきたいというグランドデザインを示していただきたい。 A 今日はあくまでも触りの部分のため、公共施設の適正配置計画の策定がグランドデザインとなる。今後、案を作成し議会や町民に説明していきたい。
Q 他の自治体で行っている成功事例を情報収集し、町民に情報開示してほしい。また、政策決定プロセスを示してほしい。 A 事例を踏まえどんな施設づくりができるか、町民の皆様と考えていきたい。公共施設は町民みんなの財産であるということをお願いしたい。
Q 公共施設の命名権として民間企業からネーミングライツを募るのはどうだろうか。その収入で維持管理に充てる。 A ネーミングライツは町議会でも話題となった。公共施設の他に公園も挙げられたので参考にしたい。



5月25日（土）10：00～12：00 竹浦コミュニティセンター（参加者8名）

内容
Q 竹浦はコミセンしかなく使い勝手が悪くなった。管理が教育委員会でいちいち許可をもらわないといけないのでその日すぐに使えない。 A 公共施設の予約については家からインターネットで予約ができるようなデジタル化を進めていきたい。
Q 旧竹浦小学校はいつまでであるのか。壊せば面積が減るのでは。 A 旧竹浦小学校は総合管理計画上では除却する予定。除却するにも解体費がかかるためいつ除却するかは約束できないが、地域の方は敷地を利用して地域活性化をしていただいているところ。活用がない場合は除却予定となっている。

Q 空家対策について萩野にあった信用金庫の建物を他の人が購入した事例もあることからいきいき4・6の向かいにあるヴィラスピカのように空いている施設を公共施設として活用できないか。
 A ・空家が多くなっているなか、まだ使える空家の利活用は考えていきたい。今年度は近隣に悪影響を及ぼす空家については排除に向けた支援施策を展開していくところ。
 ・公共施設の総量を抑制する課題に取り組むなかで、逆転の発想として民間施設を公共施設に活用するののひとつの手として参考にしたい。

Q 医療費を健康づくりで抑制する政策を考える必要がある。朝早く散歩している人がいるが、道路を歩くだけでなく休める場所を整備するのも良いと思う。
 A 医療費抑制のために健康志向を高めて健康管理をするのは大切。町の考えとして、公園遊具以外にもベンチを設置する。また、健康器具の設置などニーズを捉えて公共施設の整備をしていきたい。

Q 出張所廃止などの統合により使いづらくなってきた。竹浦は線路から山側に人口が集中しており、線路を超えるのは車の無いお年寄りには不便。可能かどうかはわからないが出張所を復活してほしい。
 A 公共施設は減らしても利便性を高めていかなければならない。出張所復活は厳しいが地域に使いやすい施設づくりを目指していきたい。

Q 竹浦地区は駅裏の方が高齢者の散歩が多い。しかし駅にトイレがないので作ってほしい。(登別駅にお願いをしたが叶わなかった)
 A 竹浦駅のトイレについては町議会でも議論となっておりJRにお願いをしているが、難しい状況。今後も地域の要望としてなくてはならないものとして受け止めたい。

Q 小学校について人口が減っており3年後以降の入学者の見込みが薄いため統合をしなくてはならないのか。
 A 公共施設と学校は別に考える必要がある。学校に関しては子供たちにとっての教育環境を考慮した上で、進めていきたい。



5月25日（土）14：30～16：30 萩野公民館 （参加者2名）

内容

Q 町営住宅と教育施設で45%を占めているが、住宅の入居率はいくらか。また、入居率の少ない町営住宅を企業の寮として活用は可能か。

A 町営住宅の入居率は7割程度。町営住宅の適正配置として公営住宅長寿命化計画の策定をしており、現状の戸数から減らしていく予定だが、民間アパートの借り上げなども視野に入れ町民のニーズを捉えてやっていく。

Q 旧白老小学校、旧敷生小学校の売却、除却はどうか。

A 遊休土地を活用してもらおうと考えているが、現時点では行っていない。

Q 昔は葬儀などで公民館を使用していたかと思うが現在は使用制限があるのか利用率が落ちている要因は。

A 特に制限はかけていないが、公民館で町内会等の協力により実施することは昨今では少なくなっているのではないかと考える。

